

庭風流・破子風流・調度風流

泉万里

Furyu Garden, Furyu Warrigo and Furyu Furniture

はじめに

- ① 庭風流
- ② 座右の破子風流
- ③ 幻想の調度風流

【論文要旨】

この小文は、「その場限りのもの」という、風流の作り物本来の姿から逸脱した作り物を拾い上げて紹介することを試みたものである。

はじめに挙げたのは、反復使用されていたらしい、屋外に設置される風流の作り物である。具体的には、儀式終了後に解体されはするものの、山に取り付けられていた作り物の優れたものは保管されて再使用されていた古代の標の山や、中世の石清水八幡社において、唐櫃に入れて保管されていた放生会会場に並べる人形や馬形などである。続いて、記念品として形を変えて保管され、鑑賞されていた例として、風流の破子を貼りつけるための衝立が作られていることを「看聞日記」に確認した。

そうして最後に、幻想のなかで詠えられた、源氏物語をテーマとした風流の調度のセットが近世後期にみられることに注目した。それは厳密には風流の作り物ではない。アルバム（画帖）に貼りこまれた紙や板、錦、金具などで作られたミニアチュアや、

絵巻にその姿を羅列的に描かれている虚構の調度一式である。そのアルバムや絵巻を所有することが、虚構の源氏物語風流の調度一式を所有することであったのだろう。特定の時空間との結びつきを絶って、はじめからアルバムや絵巻のなかにおさまるそれらは、風流の作り物の化石のようなものとみなすべきなのかもしれない。